

園だより

第 7 号

平成 30 年 9 月 28 日



ばんけい幼稚園

運動会を終えて

～年長児の心の育ち～

砂田 雪絵

雨天で 1 日延期し、当日もパラパラと雨が降りましたが、応援に駆けつけてくださったたくさんの保護者の皆様の温かい声援や大きな拍手の中で無事に運動会を終えることができました。1 学期から少しずつサーキット遊びや、三つ編みなど運動会への取り組みを積み重ねて来ました。夏休み明けの 1 番ムードが高まってくる頃に天候不順や台風、大きな地震で思うように運動会ごっこができなかったのですが、短い期間でできる限り運動会への取り組みをしてきました。

青組の子どもたちは去年の経験を活かして 1 学期から好きな遊びでもリレーごっこをしたり、鉄棒に挑戦したりする姿が見られました。鉄棒や走ることが得意な子だけではなく、苦手なことを避けていた子も友達の刺激を受けて挑戦する姿が見られるようになりました。得意な子が、苦手な子に手本を見せたりアドバイスしたりしている姿もありました。できた時は自分のことのように嬉しそうに教師に報告する姿もありました。幼稚園での活動は時間が限られているので「できるようになりたい」「速く走れるようになりたい」と家に帰ってから練習に取り組んだ子もいたようです。

2 学期に入り運動会ごっこが始まると、一気に運動会のムードが高まりました。点数の入る競技では、勝ったり負けたりを経験し悔し涙を流したり、勝った時には大いに喜んだり。負けた時にはどうしたら勝てるのか作戦を考えたり、緑組の子どもたちを巻き込んで特訓をしたりしてきました。他に、年長児としてアナウンス係と用具係の仕事がありました。責任を持って最後までできるようにとひとりひとりが自分のやりたい仕事を選びました。用具係は、どの競技で何を運ぶのか役割が決まっていて、手際良く準備ができるよう何度も練習をしてきました。アナウンス係は、原稿を見なくても言えるように、はっきりと大きな声で言えるように何度も練習をしていました。字が読めないけれど…と心配していた子もいましたが、お父さんやお母さん、また、お兄ちゃんやお姉ちゃんの協力があったようです。どちらの係も積み重ねて行くうちに自信を持ってできるようになり、当日は自分の役割を十分発揮してくれたと思います。

運動会の取り組みを通して、与えられた課題や役割に挑戦しようとする気持ち、最後まで諦めない気持ち、友達を思いやる気持ち、やり遂げた達成感を感じ、友達と一緒に協力することが楽しいと思える気持ちなど体はもちろん、心の成長も多く感じた期間でした。これからの成長も楽しみです。

早速、赤組や緑組の子どもたちがヨサコイを真似して踊ったり、アナウンスごっこをしているようです。来年、再来年の姿も楽しみです。